

江東区 青少年委員だより

No.84号

江東区青少年委員会
広報部
江東区地域振興部青少年課
地域連携係
江東区東陽4-11-28
TEL.3647-9629
FAX.3647-8474

江東区民まつり

恒例の射的コーナーに加え、 ソースせんべいも2年目の開催

青少年委員会では「なつかしの縁日」をテーマに、毎年恒例の射的と昨年度に引き続きソースせんべいを提供しました。射的コーナーでは、皆さんが真剣な面持ちで的を狙い、弾が当たってのが倒れた際には、喜びの声で場内は大変盛り上がりしました。ソースせんべいコーナーでは、今回が2年目となり、我々の提供スピードも上がったことで、順番待ちの列が長く伸びることもなくスムーズに運営することができました。また、海外からの来場者にも、初めての射的やソースせんべいを楽しんでいただき、日本の懐かしの文化を体験してもらうことができました。



開始から長蛇の列

撃ちかたも
優しく教えます



ブースでは、各委員と委員会の活動を紹介したパネル展示や、広報誌の配布など、青少年委員の認知度の向上のための広報活動も行いました。区民まつりにお越しいただいた方に、青少年委員の存在と活動を知っていただけたら幸いです。

最後に、ブースにて皆様からお預かりした「令和7年台風第15号災害静岡県」に対する義援金については、日本赤十字社を通じて寄付させていただきました。皆様のご協力、ありがとうございました。

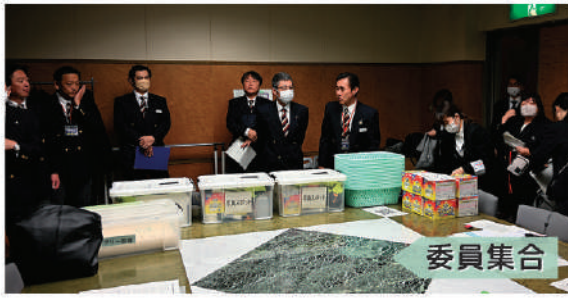
ソースせんべいも
大人気!



大盛況の
2日間でした

二十歳のつどいの1日

令和8年1月12日(月・祝)、ティアラこうとうにて「二十歳のつどい」が開催され、今年も青少年委員は、二十歳のつどいの運営に協力しました。今回は、二十歳のつどいにおける青少年委員の活動をご紹介します。



委員集合

8:00
青少年委員集合



記念撮影



地域振興部長あいさつ・事務連絡

8:20
全従事者集合



チーフ紹介・スタッフ顔合わせ



参加者が来場開始

8:45
参加者来場



記念看板での撮影のサポート



入場ゲートでの誘導案内



人力車スポットでの撮影サポート

研修講演会

「ヤングケアラーに対する支援のあり方」を開催



令和7年11月20日(木)、一般財団法人ヤングケアラー協会 代表理事の宮崎 成悟氏をお招きし、「ヤングケアラーに対する支援のあり方」について研修講演会を開催しました。

「ヤングケアラー」とは、本来大人が担うべき家事や介護などを過度に担っているこどものことです。講演では、まず「ヤングケアラーとは何か」という基本的な説明から始まり、家事・介護の負担が重く、進学を諦めざるを得なかったという非常に厳しい現実も語っていただきました。

その中で、特に心に残った点が2つあります。一つは「ヤングケアラーを完全になくすことはできない」という現実的な視点。もう一つは、ヤングケアラーは単に「かわいそうな存在」ではなく、本人たちは家族に貢献しているという活動自体に誇りを持っている場合もあるというお話でした。「ヤングケアラーをなくす」

のではなく、「ヤングケアラーだとしても健やかに暮らせる社会にするにはどうするか」という視点で、ヤングケアラー支援の課題について語られていたことが非常に印象的でした。

外からは見えにくいヤングケアラーの問題について、青少年委員としても真剣に考えていかなければならないテーマであると強く感じました。今回の講演を通じて、多くの学びを得ることができました。



入場受付・記念品配布

9:30
開場



会場内を誘導

10:00 式典開始



式典は、第1部から第4部まで計4回行われ、当日は2,628名の方が式典に出席しました。各部の最後に行われた抽選会は、当選番号が読み上げられるたびに、大きな歓声があがっていました。



式典終了後、退場口を案内

15:30
式典終了

16:00
会場撤収



参加者の退場ゲートへ誘導



各担当場所を撤収、控室へ

16:15
終礼

16:30
解散



全従事者が集合して終礼

地区会探検 深川南部地区

深川南部地区は昨年同様12月に三者懇親会を開催しました。

今年度もジュニアリーダーを招き、活動の紹介をしていただきました。その後も青少年委員会の活動の紹介、今年度に周年を迎えた学校の紹介を行いました。当日は、古谷地区長を中心に歓談を交えて、親睦を深めることができました。

今年度の周年を迎えた学校の紹介では、校長先生とPTA会長のごあいさつに加え、それぞれの周年お祝いソングを流し全員でお祝いしました。また、来年度に周年を迎える学校にもご挨拶いただき、深川南部ならではの雰囲気となりました。

今後も意見や情報交換の場として学校・PTAとのつながりを充実させるため、委員同士の連携を深めながら協力していくことを確認しました。深川南部地区は、地区対が3つに分かれていますので、各委員が地域活動の情報を持ちより交流を深めています。



生徒たちの瞳が輝いた「中学校生徒会交流会」

ワールドカフェ形式による実施



他校の実践例を参考にしたり、共通の悩みを相談し合ったりと、学校の垣根を越えて活発に意見を交わす姿が非常に印象的でした。目を輝かせながら未来の学校づくりを語り合う姿に、参加した大人たちも大きな刺激を受けた大変有意義な時間となりました。

令和8年2月4日(水)、深川第八中学校にて「中学校生徒会交流会」が開催されました。当日は4～5人の小グループに分かれ、メンバーを入れ替えながら自由に対話を深める「ワールドカフェ形式」による意見交換が行われました。

カフェのようなリラックスした雰囲気の中、1班に1名ずつ青少年委員も加わり、全3ラウンドにわたる対話を実施しました。各校の生徒会活動における成果や課題について話し合い、最後には「今後どのような生徒会活動を展開していきたいか」という熱いビジョンが発表されました。



生徒達による
活発な意見交換



令和7年11月22日(土)～24日(月・祝)に、「ジュニアリーダー講習会宿泊研修」が千葉市少年自然の家で行われました。今回は、初級・中級の講習生が129名、ジュニアリーダー49名が参加し、主催者である江東区・青少年委員会・江東区少年団体連絡協議会の育成者を含めて総勢206名での研修となりました。

昨年とは異なる施設での研修だったため、到着した後に中級生による館内オリエンテーリングが行われ、初級生と一緒に施設をまわりました。その後も、自然がたくさん残された広い敷地内でのナイトハイク、講習生が自らかまどに火を起こしてハヤシライスを調理した野外炊飯など、仲間と一緒に活動したプログラムのひとつひとつが、貴重な経験となりました。

これからも、いろいろな経験を通じて成長していくこどもたちを、サポートしていきます。



2年に1度 青少年委員会 宿泊研修



令和8年1月17日(土)・18日(日)に福島で宿泊研修が行われました。

今回訪れたのは、福島県いわき市のスパリゾートハワイアンズとアクアマリンふくしまで、2011年の東日本大震災で甚大な被害を受けながらも不屈の精神で復興を遂げた施設です。

スパリゾートハワイアンズでは震災により施設は大規模な損害を受け、一時休業を余儀なくされました。しかし職員と地域の方々と諦めずにフラガール全国キャラバンなどを行って、みごとに復興しました。当時の被害を涙ながらに話される講義は、貴重な体験でした。

アクアマリンふくしまでは、津波による被害の映像を見ました。それにもかかわらず震災から4か月という短期間で営業再開されたということで、大変な苦労があったと思いました。

今回の研修を通じて、あらためて防災に対する意識を高めるべきだと実感しました。



編集後記

今回の「青少年委員だより」はいかがでしたか。私たちは、小中学生だけでなく青少年の活動の支援や、ジュニアリーダーの育成を行っています。江東区内の各小学校には1名の青少年委員がおります。地域で活動を見かけた際には、ぜひお気軽にお声がけください。皆様との交流を楽しみにしております。(N.S.)